

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月11日
事業名	交通安全対策協議会運営事業	担当課・係名	町民課 町民協働係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	16
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	交通安全関係団体に補助金を交付する				
対象 (誰を・何を)	大磯町交通安全対策協議会				
内容	交通安全関係機関・団体（町、教育委員会、議会、区長連絡協議会、警察、交通安全協会）の代表者により組織され、大磯町の交通安全対策事業を主催する大磯町交通安全対策協議会に補助金を交付し、より効果的な交通安全対策事業を展開する環境整備を行う。				
根拠法令・条例等	大磯町交通安全対策協議会事業費交付金交付要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	724	724	724
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	724	724	724
	職員人数 (概算職員数)	人			0.17
	人件費計 (b)	千円			1,042
総事業費 (a)+(b)	千円	724	724	1,766	
事業費内訳	大磯町交通安全対策協議会交付金：724千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 団体数	団体	1	1	1
	② 全町民	人	33,529	33,322	33,263
活動指標 (活動量)	① 交通安全事業実施回数	回	10	12	9
	②				
成果指標 (達成度等)	① 交通事故件数	件	169	125	120
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 交通安全関係機関・団体が連携し、町総ぐるみで交通事故根絶を目指し交通安全対策活動を広く展開するため、本協議会の運営には行政のバックアップが必要と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 本協議会は自主財源をもっておらず、県補助金も平成21年度で廃止となったなかで、団体との連携のもと交通安全対策活動を広く展開するため、補助を行うことが妥当と考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 各季の交通安全運動における交通安全キャンペーンや街頭見守り等の実施、交通安全町民総ぐるみ大会における交通安全ポスター・標語の表彰や交通安全講話等の実施など本協議会は交通安全の推進、交通安全思想の高揚に一定の成果をあげている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 町からの補助等のほかには財源がなく、限られた予算内で効率的に啓発事業を実施しているが、より効率的な啓発方法の検討等を行う必要がある。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 町からの補助等のほかには財源がなく、限られた予算内で効率的に啓発事業を実施しているが、より効率的な啓発方法の検討等を行う必要がある。
	担当課による評価		■ A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 本協議会の交通安全活動は一定の成果をあげているが、自主財源がないなかで、補助金をより効率的に利用するために啓発方法の検討する必要がある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	町民総ぐるみによる交通安全運動を推進するため、町内会・自治会、交通安全協会、安全運転管理者会、交通指導隊などの民間団体への支援を行い、交通安全指導者などの指導力向上や人材育成、主体的な活動の促進を図る。
② 平成26年度に着手する事項	高齢者事故防止運動の推進、自転車の安全利用の推進を継続する。
③ その他（課題、調整事項等）	

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

大磯警察署、教育委員会と小学生向けの自転車交通安全教室の実施に向け協議を開始する。 自転車シミュレーターを使った効果的なメニューを取り入れ、交通安全教室の充実に向けて学校と開催に向けた調整を行っていく。
--